

秋田県高等学校の再編整備構想検討委員会 第2回会議 県北地区部会（概要）

1 日 時

令和4年7月11日（月） 13：20～16：00

2 場 所

大館鳳鳴高等学校 会議室

3 出席者

○秋田県高等学校の再編整備構想検討委員会委員 8名

○事務局（高校教育課） 8名

4 協 議

委員からの主な意見

- ・ 高校に特色や魅力がないと生徒は志望しない。地域内での高校の選択肢が狭くなれば、生徒は地域外に流出してしまう。
- ・ 工業系のカテゴリーでは、電気科、機械科、建築土木科などの科がある。県北地区における再編整備を検討する際にも、各地区毎にそのような科を存続し、興味をもった生徒が学ぶことができる受け皿としていただきたい。
- ・ 能代地区では洋上風力事業が大きな産業になり、メンテナンスに携わる技術者が必要になる。かなりのマーケットであり、地域産業との関連を踏まえたような教育を取り入れていければ、より地元との接点が強くなるのではないかな。
- ・ 1学年3学級になったら統合を検討するのではなく、3学級になっても、その地域に高校が存続できるような基準を設けた方が良い。
- ・ 学科の内容は現在のままでいいのか、どうやったら中学生にとっての魅力をつくり出すことができるのかについても議論した方が良い。
- ・ 国では、義務標準法を改正し、令和7年度までに小学校の35人学級を計画的に整備することになっている。高校でも、1学級の人数が少ない方が、教育効果を高めることができるのではないかな。
- ・ 大館地区では、3校を2校にする選択肢もありかと思う。ただし、北秋田地区では、高校を存続、維持するようなアイデアをみんなで考えていく必要がある。